

# 土砂災害から身を守るために。

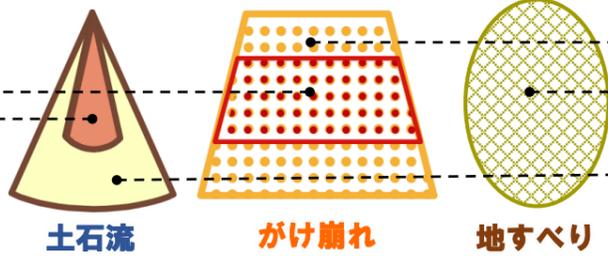
## 日頃の備え と 早めの避難 を！

### ✓ 危険な場所・避難所を確認する

まずは裏面の地図で自宅の場所や避難所・危険箇所・避難路を確認しましょう。下記の赤色や黄色の範囲には特に注意してください。

#### 土砂災害特別警戒区域

土砂災害により建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域です。



#### 土砂災害警戒区域

土砂災害により住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域です。

※赤色や黄色以外の場所でも土砂災害が発生する可能性があります。

### ❶ 「大雨かな？」と思ったら。情報を入手し避難に備える

テレビやラジオ、WEBなどで気象情報を確認しましょう。

#### ぎふ土砂災害警戒情報ポータル



(PC版)  
http://alert.sabo.pref.gifu.lg.jp/  
(スマホ版)  
https://alert.sabo.pref.gifu.lg.jp/sp/



土砂災害危険度情報  
や雨量情報が  
入手できます！



#### やおつーしん (Life vision)

防災情報やイベント案内などの生活情報を発信しています。利用申し込み後、町が貸与するタブレット端末と、スマートフォンアプリで確認できます。  
問合せ先：防災安全室  
【電話】43-2111(内線2231・2232)

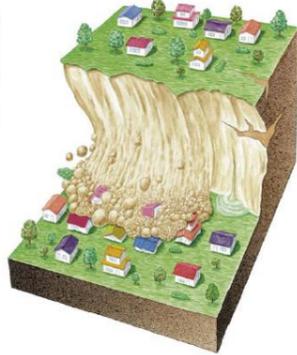
利用申込みがまだの方  
使い方・不明点などの  
お問合せはこちら

### ⚠ 土砂災害の種類

#### 土石流

#### がけ崩れ

#### 地すべり



(資料提供：NPO 法人土砂災害防止広報センター)

前兆現象を見つけたら  
直ちに身の安全を確保し  
役場へ連絡して下さい！



八百津町役場 建設課

☎0574-43-2111(代)

可茂土木事務所 河川砂防課

☎0574-25-3111(代)

#### ➤ 土砂災害に備えた事前の心構え

- この地図を見やすい場所に掲示するとともに、普段から家族、友人と避難場所や避難する経路・方法など、避難について話し合い災害に備えましょう。
- いざという時に備え、日頃から非常持ち出し品の準備や確認をしておきましょう。

#### ➤ 避難時の心得

- がけ下や溪流沿いに住んでいる方は、土砂災害警戒情報が出た場合や、大雨が予想される場合には早めに避難しましょう。
- 局地的豪雨や夜間の場合は、屋外に逃げる事が困難な場合がありますので、次善の策として、近くのできるだけ頑丈な建物の二階以上に緊急避難しましょう。
- それも難しい場合は、家の中でより安全な場所(例えば、がけから離れた部屋や二階)に避難しましょう。

## 災害時の行動を決める 「災害・避難カード」を作ろう

### 手順1 安全に避難が完了するまでの所要時間を書きましょう。

■わが家の避難先(安全な場所)は？

■家族が離ればなれになったときの集合場所は？

(A)

■避難先(A)まで行くのに片道何分？

平常時	豪雨時
① 徒歩なら 分	③ 徒歩なら 分
② 車なら 分	豪雨時は車での避難は危険ですので「使用不可」として記入しません。
④ 避難を決断してから家を出るまでに何分？ 分	
⑤ 要支援者を支援するのに何分？ 分	

■避難の決断から避難先まで行くのに片道何分？

平常時	豪雨時
徒歩なら 分	徒歩なら 分
①④⑤の 合計時間を記入	③④⑤の 合計時間を記入
車なら 分	豪雨時は車での避難は危険ですので「使用不可」として記入しません。
②④⑤の 合計時間を記入	

### 手順2 「誰と」「何を持って」避難しますか？

■誰と避難しますか？(家族、親戚、友人、近所の人等)

■一緒に避難するひとの連絡先は？

■何を持って避難しますか？(持薬、眼鏡、杖、通帳、大切なもの等)

### 土砂災害の避難情報と警戒レベル

警戒レベル	住民がとるべき避難行動	避難情報等	防災気象情報 (警戒レベル相当情報)	避難情報等の 主な伝達手段
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	緊急安全確保 ※1 (町が発令)	大雨特別警報 (気象庁が発令)	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災行政無線</li> <li>広報車</li> <li>すぐメール802</li> <li>町ホームページ</li> <li>やおつーしん (Life vision) など</li> </ul>
～警戒レベル4までに必ず避難～				
警戒レベル4 全員避難	速やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や屋内の高いところ(斜面と反対側の場所)に避難しましょう。	避難指示 ※2 (町が発令)	土砂災害警戒情報 (気象庁が発令)	家族と連絡がとれない時は？ NTT災害用伝言ダイヤルの活用
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は危険な場所から避難をしましょう。	高齢者等避難 ※3 (町が発令)	大雨警報 洪水警報 (気象庁が発令)	<p>伝言の録音方法</p> <p>171 にダイヤル イナイ ガイダンスが流れます 録音の場合 1 ご自分の電話番号</p>
警戒レベル2	災害に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	大雨注意報 洪水注意報 (気象庁が発令)	<p>※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではないなどの理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。</p> <p>※2 避難指示は、これまでの避難情報のタイミングで発令されることとなります。</p> <p>※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難をしましょう。</p>	<p>伝言の再生方法</p> <p>171 にダイヤル イナイ ガイダンスが流れます 再生の場合 2 安否情報等を確認したい相手の電話番号</p>
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発令)		



大雨警報や土砂災害警報、避難情報等が出ていなくても土砂災害は発生する場合があります。斜面の異常に気がついた時や危険と思った際は、避難をしてください。

